

み けつ くに

御食国若狭おばま食文化館

楽しむ!若狭の歴史と文化 伝統工芸にチャレンジ!!



自然で遊ぶ・子供と学ぶ

手作りの休日

今月の家族 ●野中靖浩さん・泉さん・航平くん(12歳)・日菜子ちゃん(9歳)〈福井市在住〉



まずはみんなで若狭塗箸の研ぎ出しに挑戦

数々の伝統工芸が今なお大切に守り継がれている若狭・小浜。
それぞれの匠の技には歴史と文化の息吹が宿っている。
若狭塗、若狭めのう細工、若狭和紙…
さあ、あなたならどれに挑戦する?



2本の棒に芸術を刻む
研ぎ出しで「マイ箸」づくり

小浜湾に面して建つ『御食国若狭おばま食文化館』。その2階にある『若狭工房』では、伝統工芸を受け継ぐ職人たちの指導のもと、さまざまな手作り体験ができる。

野中さん一家がまず向かったのは、若狭塗箸のコーナー。若狭塗箸は、生地に卵の殻や貝殻を貼り、その上から色とりどりの漆を十数回塗り重ねる。これを研ぎ出すことで、何層にも塗られた漆や貝殻などが独特の模様となって現れるのが特徴だ。ここでは、その「研ぎ出し」の工程が体験できる。4人はさつそく漆で覆われた箸を手にとつて、サンドペーパーで表面をゴシゴシ…。「思いつきり研いでも大丈夫ですよ」というアドバイスで次第にコツをつかみ始めた。「思ったより力があるね」「先の方まできれいに磨くのが難しい」などという話し声もいつの間にか途絶え、作業に集中。箸の表面に、塗り重ねた漆の美しいグラデーションが現れ始めた。